

令和6年度 犀峽高等学校・篠ノ井高等学校犀峽校「関東同窓会」総会 報告

日 時 2024年6月8日(土) 12時～14時30分
場 所 東京都千代田区麹町6-6 スクワール麹町
関東同窓会 会長 山口繁実

1. 総会

(1)山口関東同窓会長あいさつ(要旨)



・遠方よりお越しいただいたご来賓方に謝意を述べられました。

同窓会は同じ学校で、苦楽を共にし、互いに励まし合いながら同窓生として同じ仲間意識を持った者が集まって構成されていること。

犀峽高等学校の本年度の全校生徒数は16名でスタートした。少人数ではあるが地域との交流が盛んに行われており、クラブ活動も少人数であるがために個人競技中心となっているが、中でもカヌー部は昨年のインターハイ等に出場し活躍されました。今後とも同窓会として支援して行きたい。

また、本日の同窓会には、昨年より10名程多くの方のご参加をいただいたことに対しお礼を述べられました。

来賓挨拶

(2)柴田本部同窓会長あいさつ(要旨)



・昨年度から本部同窓会長を仰せつかっている昭和51年度卒業生の柴田です、と紹介された後、本年3月の卒業式で同窓会長として、卒業生及び保護者並びに教職員の皆様に贈った「挨拶」の内容を紹介され、人それぞれ成長の過程は違うが、この犀峽高校で学んだことは、社会に出て初めて分かる、社会に出たときに真価が問

われる、そして「社会に出て自立してゆく」ということを学びとして教育されていると挨拶されました。

(3)宇都宮副校長あいさつ(要旨)



・学校の近況と今の犀峽高等学校が置かれている状況について報告するとしたうえで、地元の信州新町中学校からの入学生が初めてゼロになったこと。本年度の全校生徒数が16名であること。小人数ではあるが地域との交流は盛んに行われていること。

高等学校の再編については、これまで、令和5年度を初年度として「在籍生徒数が60人以下の状態が2年連続した場合には、募集停止を検討する。」……とあったが、今年の3月に「高校再編推進室」より【令和5年度を初年度として適用することとしている「再編に関する基準等」について再検討することとする。このことに伴い、令和6年度以降、本基準の適用を一定期間保留する。】旨の通知があったこと。

このまま学校が残るかわからないが、今後は、検討の場の設置を含めて検討することとなったこと。また、学校に関する情報は本校のホームページにも色々と掲載しているので、是非ご覧いただきたい。

同窓会の皆様には、現段階では不透明なところも多くありますが、引き続きご支援をしていただきたいと挨拶されました。

○山口会長より

・山口会長より、本日で一身上の都合により会長職を辞するとの発言がありました。

平成28年6月より9年間、会長職を務めてまいりました。この間、コロナウイルス感染症での中断もありましたが、これまでの皆様のご協力に感謝申し上げますと述べられました。

議事

(1)事業報告について

(2)会計報告について

(3)会計監査報告について

それぞれ担当者から資料に基づき報告があり、会員の多数より賛同があり承認されました。

(4)役員改選及び新会長の挨拶



・山口会長の退任されることを受け、会長の選任を行い、40年度卒業の坂井氏が本総会に於いて信任を得、新会長に選出されました。

・新会長の坂井氏からは、これまで、この同窓会を永年献身的に支えてきた方を差し置いて会長に就任することは少々心苦しい。また、同窓会へは、私的な事情もあり永年失礼していたことを今となっては悔や

んでいます。今後は皆様の協力を得て同窓会をさらに活性化するため努力して行きたいと挨拶されました。

以上で本年度の総会が終了しました。

2. 懇親会

30年度卒業の西澤様より「乾杯のご発声」で懇親会が始まり、皆さん楽しいひと時を過ごしました。途中、今井さんのリードで「信濃の国、故郷」をみんなで合唱、さらに、高沼さんの指導により「第二応援歌」を、当時の応援団の応援スタイルが有志により再現されるなどあり、大いに盛り上がりました。

最後に43年度卒業の中村様の「締め」で懇親会が終了しました。

広報担当 宮崎利久